

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【地蔵岳 スノーシュー】

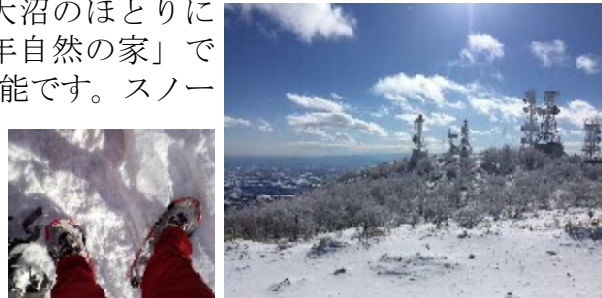
1月～3月の1番寒い頃、赤城山は真っ白な雪で覆われます。この季節におすすめしたいのが、「スノーシュー」です。

スノーシューとは西洋版のかんじきのようなもので、履くとふかふかの新雪の上でも自由に歩き回れます。

このスノーシューを履いて、ぜひ登ってほしい山が「地蔵岳」。初心者の方でも比較的登りやすい山で、1時間程で山頂に着きます。山頂には、電波塔や木々の枝まで真っ白に染まった、この季節だけの美しい銀世界が広がっています。眼下には関東平野や、氷の張った大沼も見ることができます。

スノーシューは、大沼のほりにある「前橋市赤城少年自然の家」でレンタルすることも可能です。スノーシューを履いて、この季節しか出会えない景色を探しに行きませんか。

(文：大濱)



■所要時間:交流の家から約30分 ■住所:群馬県前橋市富士見町赤城山(前橋市赤城少年自然の家 お問い合わせ→027-287-8227)

リレーcolumn すたっぷの目

『赤城で働くことについて』

文:高橋 浩一

【たかはし こういち】



交流の家の職員について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。自然体験活動の指導者がいることはもちろんですが、食堂職員や浴室管理者、清掃職員、警備職員など、ここには書ききれないほど多くの人が施設に携わり、皆さまの体験活動を支えています。

私は会計担当の職員として施設管理や会計業務に従事しており、3月には早くも3年になります。これまで感じてきたことは、利用者の直接指導にあたる職員・あたらぬ職員を問わず、子ども好きで思いやりのある職員が多いことです。そのような職員と共に働いていること、また、一步外に出れば自然豊かな環境に身を置くことができる場所で働いていることに、喜びを感じています。

(文:高橋浩)



2016年5月に、めでたく2番目のお子さんが産まれた高橋さん(写真は1番目のお子さん)。家庭では素敵なお父さんとして活躍中です。

つぶやき田

【テーマ:2017年、これ始めます!】

●新年はトレイルランニング大会に挑戦してみたいですね。そして体重を夢の70kg台に... (原田)
●野菜の摂取量を増やします。目指せ健康診断“異常なし”! (森田)

●子どもとともに川下りを始めます。まずは荒川から。(阿左見)

●「健康」と「体力の保持増進」に注意しつつ、活動的になりたいです。まずは「さんぽ」から始めます。(鈴木)

●今年こそ、トレーニングを始めます。まずは、毎日ウォーキングからかな。(杉浦)

●子どもも大きくなってきたので、一緒に登山に行きたいと思います。まずは、長七郎山かな。(田野崎)

●心機一転!これまでの生活を見直し、趣味を見つかる年にしようと思います。DIY、山登り、ゴルフ...。(松崎)

●2017年は脂肪を減らすため運動をはじめます(と、2016年も同じことを言っていました。(手島)

●基本的な事ですが、整理整頓をシムダを無くして、効率よく仕事が出来るようにしたいと思います。(新井)

●年末ジャンボ宝くじで1億円を当てて、PAサイトにハイエレメントを作り、ハイエレ指導を始めます。(小倉)

●海で泳いだ。川で泳いだ。山に登った。残るは空です。2017年は空を飛びます。(渡邊)

●赤城に来て2年目、仕事ができることに感謝し、仕事を楽しむ1年にしたい。私生活では読書をしたい。(飯沼)

●新たなステージに向けての自分磨き。健康管理、読書、研修参加などで自己研鑽を行いたい。(根本)

●体力作り!...中之条まちなか5時間リレーマラソンで体力が落ちていることを実感したので(完走はしましたよ)。(田村)

●体力維持やダイエットのためにジョギングです。ここで目標を掲げておけば1年間続けられるかな。(田中)

●今年こそは、ダイエット成功するぞ!と目標を立てて早10年!なにも変化なし。今年は、週3の休肝日設定!!(丸山)

●毎年、日々の運動を目標に掲げますが、1月中旬には挫折してしまうので、日々のストレッチを目標にします。(高橋浩)

●体力強化・筋力アップ、これに尽きますね。膝痛や腰痛が、、、情けない!まずは犬の散歩かなあ〜??? (大工原)

●4年と8ヶ月。赤城で得たものはたくさん。厳しいが楽しい環境へ飛び込みます。(黛)

●500円玉貯金を始めます!塵も積もれば山となる、ということで、仕事もコツコツ頑張りたいと思いますコケッ。(高橋悠)

●あつという間に過ぎた1年でしたが、ストレスが溜まりました。今年は気持ちを切り替えて、ストレスを少なくしたいです。(佐藤)

●大学で少しだけ学んだ、心理学の勉強をまた始めます。理論だけでなく、日常に役立つ知識を身につけたいです。(大濱)

次号は、
4月1日発行予定!

「交流の家HP」
「Facebook」で
当所の情報を更新中

体験の風を
おこそう



国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00) FAX:027-289-7226

あかぎ カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail:akagi@niye.go.jp

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ



「つる」

みなさん、群馬県の形を地図上で見てみると、何に見えますか?人によって見方は異なるかと思いますが、群馬県民の方は大抵、「つる舞う形」と答えるでしょう。

というのも、群馬県の歴史や文化を題材にした「上毛かるた」の中に、「つる舞う形の群馬県」という札があり、群馬県民の方は子どもの頃から、そのかるたに慣れ親しんでいるからです。

つるは古来より日本人に親しまれ、その文化に根付いてきた鳥です。昔の詩歌や絵画の中にも、つるは度々登場します。また、「鶴は千年、亀は万年」ということわざもあり、長寿の象徴としても有名です。

多くの人にとって、あまり身近で見かける鳥ではありませんが、日本の「文化」や「心」には、とても関わりの深い生き物ですね。

風のおと

『インクルーシブ教育』

11月下旬、交流の家にいつもより早い初雪が降った頃、ドイツへ研修に行っておりました。文部科学省とドイツの家族・高齢者・女性・青少年省が主催する40年以上の歴史がある「日独相互交流事業」です。

「インクルーシブ教育」というテーマで、視察や講義を受けてまいりましたが、障がいのある方も、貧困や紛争で難民になった方々なども、すべての人々にとって差別や偏見のない共生社会を構築することが最終目的です。

ドイツがこの分野の最先進国というわけではないのですが、たくさんの方を受け入れ、言葉の教育や職業支援などを国全体

で押し進めている様子を感じました。幼稚園や小学校では、各クラスにいろいろな障がいがある子が数名交ざっており、みんなで助け合いながら勉強している風景も見学してきました。

赤城青少年交流の家では、数年前から外国人の子どもたちや障がいがある子どもたちが、他の子どもたちと一緒にキャンプを行っています。

来年の5月には、ドイツ団が赤城を訪れます。日本でもさまざまな共生社会が少しずつ実現していることを見てもらいたいと考えております。

所長 杉浦 俊之

あかぎの事業

【芝生の広場で野外体験】

秋のアウトドアフェスタ

秋晴れの空の下、秋のアウトドアフェスタを開催しました。小さなお子さんがあるご家族が、たくさん赤城の森へ遊びに来てくださり、広い芝生のフィールドを元気に走り回っていました。

やはり1番人気のプログラムは、ロープを使った木登り「ツリーイング」。すぐに定員いっぱいになり、テニスコート横にある大きな木の1番上を目指して、一生懸命登っている子どもたちの姿がとても印象的でした。それ以外にも、火おこし体験やアルミ缶でのご飯炊き、今年から始めた森のピザ作りも人気でした。赤城の名物である「赤城おろし」という、山を越えて吹きつける強い北西風を上手く利用した凧づくりのブースでは、オリジナルの凧が出来上がり、みんな空高く飛ばしていました。

前泊から参加したご家族は昨年より多く、夜はみんなで焚き火を囲み、お話をしたりマッシュマロを焼いたり、ゆったりとした時間を過ごしました。

「アウトドアフェスタで、アウトドアデビュー」というテーマでこの秋のアウトドアフェスタを始めましたが、だんだんアウトドアが大好きな方が来てくれるフェスタに変わってきました。毎年来てくれているご家族もいるので、来年はまた内容を検討し、たくさんの方々に満足してもらえるようなフェスタにしたいと思っています。

お越しいただいたみなさま、ありがとうございました。また来年もお待ちしております。
(文：黛)

- ### 【プログラム】
- 達人のエリア**
 ■ 野外力検定 ■ 火遊び天国
 ■ マキ割り体験 ■ 空き缶でご飯を炊こう
- 草原のエリア**
 ■ はだしde広場
 ■ Kubb (クubb)、グランドゴルフ
 ■ ジャンボ富士見カルタ ■ ドッチビー大会
 ■ 森のピザ作り
- 森のエリア**
 ■ ツリーイング体験 ■ ディスクゴルフ
 ■ アドベンチャーラリー体験
- 科学のエリア**
 ■ 自然エネルギーを電気に変えよう!

協力団体：ジェネシスワン、NPO法人あかぎの森のようちえん
 日本ボーイスカウト群馬県連盟、群馬大学、赤城法人ボランティア



これからの動き 下記の事業の詳細はこちらまでお問い合わせください⇒TEL：027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)

■ 自然体験フォーラム2017

2/11(土)～2/12(日) 1泊2日
 対象：高校生以上
 ※託児もあるので、お子さん連れの方も参加できます。(要予約・有料)

申込締切：2/3(金)

テーマは「想いでつながる、そしてはじまる」。自然体験に関わっている方、これから関わりたいと思っている方が集うフォーラムです。様々なフィールドで活躍する講師の方による、ワークショップにも参加できます。

■ スポーツ交流デイ

・小学生バスケットボール交流会
 2/26(日) 日帰り
 会場：太田市新田総合体育館
 対象：バスケットボール協会に登録しているチーム
 講師：富士スバル女子バスケットボール部

・小学生ラグビー交流会
 3/19(日)～3/20(月) 1泊2日
 会場：国立赤城青少年交流の家
 対象：ラグビー協会に登録しているチーム
 講師：ワイルドナイフスポーツプロモーション 三宅 敬さん
 ※申込締切：2/3(金)

プログラム紹介！

【オリエンテーリング】

交流の家で行われているオリエンテーリングは、グループで地図とコンパスを頼りに、周辺の森に点在する、それぞれ点数の異なる「コントロールポスト」を探して歩き、得点を競うゲームです。

まず説明・注意を聞いた後グループごとに作戦タイム。地図の確認をして、遠くの高得点のポストを探るか、見つけやすい近くのポストをたくさん回るか、回る順番は？メンバー皆で相談してから出発します。成績は、見つけたポストの合計得点の多いグループが上位になります。制限時間をオーバーすると減点になりますから、途中での作戦変更も重要です。

活動中は、ハチやうるしの木など危ないものに気をつけて行動しましょう。水分補給も忘れずに。無理をせずグループのみんなで協力し合って楽しく行うことが大切です。自然の中で楽しい時間を過ごせる、小学生から大人まで、人気の高いプログラムです。ぜひご活用ください。(文：大工原)



国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 清掃業務(日本ビルシステム株式会社)
 西形さん、松本さん、須田さん

玄関から足を一步踏み入れてみると、いつも施設内はとてもきれいで、清潔感にあふれています。今回ご紹介するのは、その立役者である清掃員のお三方です。写真の左から、西形さん、松本さん、須田さんです。



笑顔も素敵な皆さん。交流の家の「縁の下の力持ち」です。

清掃する際は、「利用者の方々が気持ちよく過ごせるように」「いつもきれいであるように」という思いで、清掃にあたられているそうです。さらには、施設内の汚れを落とすことで、自分の心の汚れも洗い流し、今日も1日無事に終わったと、感謝の念を抱くこともあるとのこと。

また、たくさんの方々から、あいさつや「ありがとう」のお礼の言葉をいただくことで、また頑張ろうと元気いっぱいになり、次への活力になるそうです。ですので、みなさん清掃員の方々を見かけたら、どんどん声をかけてみてくださいね。
(文：小倉)

あかぎをつかう！

冬季の利用や活動について

【冬季のご利用に関して】
 冬季(1月から3月)は利用しやすい時期です。当所は雪が積もることはあまりなく、お車・バスでの来所は通年可能です。企業研修や各種団体活動、ファミリーでのご利用、来所をお待ちしています。

【感染症・食中毒に注意！】
 インフルエンザなどの感染症や、ノロウイルスによる食中毒は、多くの場合冬期に発生します。当所では感染症の拡大防止、食中毒予防のため、手・口に触れても安全なウイルスやばい菌の除菌・消臭のスプレーの使用をお願いしています。
(文：飯沼)

～ぐんま百名山を歩く～

【妙義山】 今回の山行記録は、上毛三山の1つである妙義山です。妙義山系は、南側の表妙義と北側の裏妙義に分かれ、多くのルートがあります。今回の山行では「丁」の字に形が似た岩、「丁須の頭」を間近で見るために、裏妙義に行きました。コースは途中から鎖場が連続します。注意を払いながら進むと、「丁須の頭」の肩に達することができます。登山部とはいえ、高所恐怖症の私が行けたのはここまで。同行した先輩が勇敢にアタックする姿を下から応援していました。なお、11月中旬に行くと、紅葉も楽しめるのでおすすめです。(文：高橋浩)



赤城山ツーリズム 第4回

「赤城おろし」 「良農園」伊能さん

群馬県前橋市田口町にある良農園は榛名山、谷川岳、そして赤城山からの風の通り道で、冷たい風が常に吹いています。しかし、山からの風は悪いことばかりではありません。冷たい風が吹くと、野菜は寒さから自分の身を守るために水分を減らします。それによって野菜の糖度が増し、甘く感じるのです。糖度が高くなることで、雪が降った時も芯まで凍りにくくなります。自然の厳しさが野菜を美味しくするのです。自然の摂理に従って成長している姿はまさに共生していると言えます。赤城おろしで更に美味しくなった冬野菜をぜひ食べてみてください。



冬の厳しい寒さを耐えた野菜たち。生命力の強さを感じますね。